

栃木県眼科医会理事会だより(平成25年度第2回)

日時：平成25年7月17日(水)午後7時から

場所：宇都宮市医師会館

出席：原(裕)会長、旭、吉沢(徹)副会長、大久保(彰) 大野、城山、苗加、福島、上田、井岡、高橋(雄)、 斉藤(哲)、堤、石崎、安藤、早津(宏)、蘇、松島(博)理事、宮下監事 計19名

欠席：小幡、牧野、後藤理事、鈴木(隆)監事、早津(尚)、稲葉(光)、田口、柏瀬(宗)、斉藤(武)、佐藤、川島、妹尾顧問 計12名

《会長挨拶》

お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。今年やらなければならない事項もいろいろございます。

会則の制定、眼科学校検診のマニュアル、そして理事会におけるプレゼンテーションの方法など、みなさまでご協議いただければ幸いです。

《総務》

報告：1. 平成25年度第1回関プロ支部長会議、連絡協議会出席報告(6月8日(土)さいたま市大宮ソニックシティ)

原(裕)会長、宮下関プロ顧問出席

支部長会議(原会長)：3年後に栃木県開催です。各県からの議題は、群馬県からはHPの開設について、千葉県からは日眼医代議員の選出方法について、栃木県からはCL適正使用の通達に対する対応、来年の関プロは千葉県。

連絡協議会(宮下顧問)：各都道府県の会長が会長職を退いたとき顧問に就任するが、今年は該当なし、関プロ規約の文章(文言)について、日眼医定例代議員代表質問数について、など。

平成24年度決算報告、および監査報告。その他。

第20回関プロ 平成26年6月14・15日ホテルニューオータニ幕張で開催

2. 平成25年度関プロ男女共同参画委員会出席報告(6月8日(土)さいたま市大宮ソニックシティ)

安藤、福島理事出席

①福下雄二(前内閣府審議官)の講演「女性医師のキャリア継続について」

②山梨県から、女性眼科医師の継続就労支援に関するアンケート結果について。

③長野県から、「女性医師の増加が医療崩壊の一因になっているか」「女性医師が育児をしながら働き続けるための対策について」の議題提出。

3. 平成 25 年度第 2 回日眼医定例代議員会、定例総会出席報告(6 月 23 日(日)ザ・キャピタル東京)

原会長、吉澤副会長出席

日眼医会務報告、決算報告、定款の改定について、代表質問の数について、などの議題
選挙法：まず A 案で実施、2 年後に再度調整。(これに伴い、栃木県眼科医会でも来年度に向けて役員の改選を実施。)

4. 平成 25 年度栃木県眼科医会総会開催日の件

5 月 12 日(日)に開催、平成 26 年度も 5 月 (5 月 11 日(日)) 開催。

5. 会員の移動・変更の件

勤務先変更	B	永澤一恵
自宅住所変更	B	永澤一恵

協議：1. 入会希望者について (転入、開業を含む)

B 春野功 (国際医療福祉大学眼科)

《経理》

報告：1. 第 49 回栃眼医研究会収支報告

AB 会員 47 名 C 会員 4 名 収入 147,000 円 支出 221,740 円

2. 栃眼医会費等の納入状況

7 月 31 日(水)が納入期限、7 月 17 日(水)時点での納付状況は下記の通り

	支払い済み	未払い
A 会員	54 名	7 名
B 会員	28 名	26 名
C 会員	3 名	4 名

《学術》

報告：1. 第 49 回栃眼医研究会開催報告((ファイザー製薬と共催 6 月 14 日(金) 宇都宮グランド
ホテル)

51 名参加

糖尿病網膜症治療 Up Date 2013

特別講演 I 「糖尿病網膜症の硝子体手術アップデート」

自治医科大学糖尿病センター 教授 佐藤 幸裕 先生
特別講演Ⅱ 「糖尿病網膜症の新しいレーザー治療について」
聖路加国際病院 眼科部長 大越 貴志子 先生

2. 日眼医より「日眼医講師派遣依頼書」送付 依頼書のひな型が送付された

協議：1. 第36回獨協医大眼科栃眼医合同講演会の件（7月26日（金）獨協医大）

「進化し続ける流出路再建術」

北海道大学大学院医学研究科眼科学分野 診療教授 陳 進輝 先生

「早期緑内障の発見術・治療術」

金沢大学医薬保健学域医学類 視覚科学 教授 杉山 和久 先生

2. 第50回栃木県眼科医会研究会について

平成26年1月10日 再生医療（角膜と網膜）をテーマ

3. 第66回栃木県眼科医会集談会開催の件

平成26年5月11日開催

4. 平成25年秋の集談会

平成25年11月15日（金）開催

5. 平成25年9月13日（金）アイファガン発売1周年記念講演会 in 栃木

（宇都宮グランドホテル19：00～）

6. 第2回栃眼医獨協眼科病診連携の会

平成25年10月25日（金）

《医療安全対策及び福祉》

報告：1. 平成25年度コメディカル講習会

本県からは28名受講

協議：1. 第79回栃眼医親睦ゴルフコンペについて（10月20日（日）宮の森カントリー倶楽部）

広く会員から参加を募るので、眼科医会から3万円の補助金を出す

《保険》

報告：1. 平成25年度全国審査委員連絡会議についての報告（5月26日(日)東京プリンスホテル）

吉澤副会長

①都道府県実情確認アンケートについて

②会議の開催報告

診療報酬改定に際しての要望 10項目（現時点での要望）

- 1 眼科特定疾患指導管理料の新設
- 2 眼科在宅患者訪問指導料の新設
- 3 水晶体再建術の増点
- 4 視野・屈折矯正視力検査等の点数復活
- 5 外来管理加算点数以下の検査料の見直し（光覚検査、色覚検査、中心フリッカー等）
- 6 眼処置算定要件の緩和
- 7 角膜内皮細胞検査の適応拡大
- 8 眼底デジタルカメラ撮影の評価
- 9 ロービジョン検査判断料の施設基準の緩和
- 10 有床診療所入院基本料についての条件の緩和

2. 平成25年度関ブロ健康保険委員会関連報告(6月8日(土)さいたま市大宮ソニックシティ)

吉澤副会長：全国審査委員連絡会議に準ずる

3. 薬価基準追補収載について

タプロスミニ点眼、オキシブプロカイン塩酸塩点眼液0.4%「ニットー」、オフロキサシン点眼液0.3%「テバ」、ティアバランス点眼液0.3%、ヒアロンサン点眼液0.3%、プロビスク0.6眼粘弾剤1%、レボカバスチン点眼液0.025%「KOG」、レボフロキサシン点眼液0.5%「KOG」、等

4. 眼科有床診療所の実態調査の結果の送付について

会員に送付済

2. 「保険請求のお願い」のFAXについて

「緑内障」のみの病名で内科からの処方などが事務的査定の事例がある。開放隅角、正常眼圧、等の病型を付けてほしいとのこと

1例1例すべて異なるため、患者さんの安全は第一に考えるが、事務的査定については

断固反対していく。

6. 平成 25 年度第 1 回審査委員連絡会の開催報告

6 月 24 日（月）開催

退院時リハビリテーション管理料、条件を満たせば取っていく

会員に周知していく

月 1 回以上はとらない、等。

協議：1. 平成 25 年度都道府県眼科医会健保担当理事連絡委員会の件

インターネットを利用したバーチャル会議

2. 健保研究会における質疑応答について

保険担当理事が応じる

3. 新規開業医への保健指導担当医の件

《広報》

報告：1. 栃眼医会報 46 号の件 配布済み

協議：1. 当会ホームページの件

2. 眼科臨床紀要会誌への投稿依頼の件

栃眼医の集談会 1 ページ

《学校保健》

報告：1. 日眼医より依頼の「日本の眼科学校保健の頁執筆依頼」の件

苗加理事が担当

協議：1. 第 37 回全国眼科学校医連絡協議会（9 月 29 日）出席者および提出議題

視力検査の連絡用紙、書式がまちまち

2. 県医師会から依頼の眼科検診について

小学校の就学次健診と入学後の学校検診の内容に整合性のない部分がある。

栃眼医理事会の中に検討会を立ち上げ、統一マニュアルを作成してゆく。

《公衆衛生》

報告：1. 「平成 25 年地域医療に係る県民協力事業費補助金」交付申請（20 万円）の件
今年度も申請

2. 栃木県アイバンクの献眼慰霊祭出席報告（5 月 26 日（日））
原会長 妹尾顧問 出席

3. 日眼医から送付の「日本網膜色素変性症協会からの協力依頼」の件
「JRPS とちぎ」の講師 堤理事

協議：1. 「目の愛護デー」関連行事について（10 月 6 日（日）宇都宮市健康センター（ララスクエアビル 9 階）

下野新聞への意見広告：齋藤（哲）理事に依頼

午後 2 時開始

目の健康講座：「目の病気を正しく理解しよう」14:00～15:00

自治医科大学眼科学講座教授 川島 秀俊 先生

目の健康相談：15:00～受付終了 15:30

無料眼圧測定：15:00～受付終了 15:30

2. 日眼医より依頼の「目の愛護デー」記念行事聞き取り調査の件
堤理事より回答

《医療対策》

報告：1. コンタクトレンズ管理者継続講習会の進捗状況について
平成 25 年 12 月 1 日（日）

2. 日眼医より「平成 24 年度第 2 回医療対策委員会議事録」送付

3. 医療材料の納入価格について

実験室や調剤薬局で使用するものと同一の製品が、「医療用」と銘打ただけで（「医療用」のシールが張られているだけの違い）不当と思われる上乘せの事例が報告された。各医療機関においても、医療材料や薬品購入に際しては見積もり価格と納入価格の突合せなど、こまめなチェックが必要と思われるので注意を喚起する

- 協議：1. 平成 25 年度第 1 回医療対策委員会提出議題について
カラーCL の対応 CL 適正使用に関する通達について など

《勤務医》

- 報告：1. 第 18 回栃木県眼科手術談話会開催報告及び収支報告（5 月 24 日（金）宇都宮市医師会館）
49 名参加
一般演題 3 題
特別講演 「緑内障の手術治療アップデート」 原 岳 先生
2. 平成 25 年度関プロ勤務医委員会出席報告（6 月 8 日（土）さいたま市大宮ソニックシティ）
上田理事出席
3. 日眼医より依頼の「都道府県別新眼科医数調査」について
自治医大 2 名 獨協医大 1 名

- 協議：1. 日眼医より依頼の「各都道府県眼科医会のサマーキャンプ参加者支援の取り組み調査」について
参加者に対しての援助に関するアンケート：栃眼医としては行っていない。

《日眼医連盟》

- 報告：1. 日本眼科医会連盟より依頼の「『羽生田たかし』選挙における電子メールアドレスの収集」について
2. 「日眼医連盟委員会平成 25 年第 4 回連盟委員会摘録」日眼医連盟より送付（7 月 1 日（月））
3. 「日眼医連盟委員会平成 25 年第 5 回連盟委員会摘録」日眼医連盟より送付（7 月 1 日（月））
4. 「日眼医連盟委員会平成 25 年第 6 回連盟委員会摘録」日眼医連盟より送付（7 月 1 日（月））

5. 「日眼医連盟委員会平成 25 年第臨時協議委員会摘録」日眼医連盟より送付（7 月 1 日
（月））

《その他》 次回理事会は 9 月 18 日（水）に開催する。

以上

（福島一哉 記）